



# 深大寺所蔵「孔雀文磬」が 国重要文化財に新たに指定へ

3月26日、文化庁の文化審議会は文部科学大臣の諮問に対して、深大寺所蔵の仏具「孔雀文磬」を国の重要文化財(工芸品)に指定するよう答申しました。今後、国の官報告示をもって正式に指定されます。

## ◆ 昭和54年(1979年)以来、47年ぶりの国指定

磬とは、法要の際、導師の右側に置かれた磬架に吊るされ、読経などの合図として撞木で打って音を鳴らす仏具のことです。

磬が国の重要文化財に指定されるのは、昭和54年(1979年)以来、47年ぶりとなります。

## ◆ 調布市史にかかわる国指定文化財としては5件目

市には深大寺の国宝釈迦如来像・重要文化財の梵鐘、国指定史跡の下布田遺跡、深大寺城跡があり、深大寺の孔雀文磬は市内で5件目となります。そのうち3件が深大寺所有の文化財です。いかに、深大寺が調布市の歴史を語るうえで重要なかが分かります。

## ◆ 重要文化財 深大寺の孔雀文磬

表面中央の蓮華形の撞座を挟んで向かい合う孔雀をあらわす、孔雀文形式の磬です。裏面は、撞座を挟んで陽鑄で「武洲深大寺／深沙王堂／(金偏に又のしたに口)一面(撞座)文永四年丁卯／十月日」の銘が鑄出されており、本磬が鎌倉時代の文永4年(1267年)10月に武州深大寺深沙王堂の磬として製作されたことが分かります。銘文の(金偏に又のしたに口)は、我が国の文字史料上先例がなく、おそらく磬と同義の異体字かと思われます。国語学や文字研究において、貴重な発見と言えるでしょう。

製作年代が判明する鎌倉時代の磬は国内に18例のみであり、大変優れた工芸品であること、また、深大寺の寺名が記された最古の史料であることなどが高く評価され、令和8年(2026年)3月、国の文化審議会は深大寺の磬を重要文化財に指定するよう、文部科学大臣に答申しました。本年秋の官報告示を経て、正式に重要文化財となります。



銅磬 表



銅磬 裏



## ◆ 深大寺の孔雀文磬 奇跡の里帰り

本磬は、長い歴史の中で経緯は不明ですが、相模湖畔の高野山真言宗善勝寺に伝来し、長年護持されてきました。しかし善勝寺ご住職・檀信徒の皆さんの高いご見識により、令和7年(2025年)4月20日をもって、深大寺にお里帰りしました。

◆ ◆

本磬は4月25日(土)～5月17日(日)、京都文化博物館で行われる新指定展に展示されます。深大寺では今秋公開予定です。

調布市 深大寺 ☎042-486-5511 (産業振興課)

## 第37回 なんじゃもんじゃ 防災コンサート

深大寺境内のなんじゃもんじゃの木の下で、東京消防庁音楽隊による防災コンサートが開催されます。

日 4月28日(土)午後1時～2時頃

所 深大寺境内なんじゃもんじゃの木前

演 東京消防庁音楽隊

入 入場料無料(席に限りがあり。立ち見可)

備 雨天の場合、深大寺小学校の体育館で開催

調 調布市 ☎042-486-5511



(産業振興課)

## 春の奉納 ピアノコンサート

暖かい春の気候のなか4日間にわたるピアノコンサートをお楽しみください。

日 5月3日(祝)～6日(休) 所 布多天神社 神楽殿

詳 詳細は布多天神社公式Instagram参照

無 無料

所 布多天神社奉賛会 事業委員会

☎042-489-0022



布多天神社  
公式Instagram

(産業振興課)

## 第86回 緑と花の祭典



日 4月25日(土)・26日(日) 時 午前10時～午後4時

所 トリエ京王調布B館北側・南側

内 花苗・野菜苗の販売、植木・園芸用品の販売、坪庭の作成展示、竹を使ったクラフト体験、お庭の無料相談、包丁研ぎ(有料)、花の種子の無料配布、来場者(小学生までを対象)にミニひまわり・ミニトマト栽培キットをプレゼント、緑の募金、調布市ふるさとのみどりと環境を守り育てる基金案内など

調 調布市 ☎042-481-7083

## 地域交流イベント



## 「大好き市」



「しごと場大好き」の施設を開放して、コンサートやパンの耳を使ったお菓子のワークショップのほか、作業所で作った組みひも、陶芸作品、カレー、コーヒー、手作りジェラートなどを販売します。

日 4月29日(祝)午前10時～午後2時30分

所 調布を耕す会 しごと場大好き(布田3-20-1) ☎042-486-0232 (障害福祉課)

